

環境設定ファイル(2021/01/04 tokuzato)

Visual Studio Code VSCodeUserSetup-x64-1.58.2インストール



追加タスクの選択

実行する追加タスクを選択してください。



Visual Studio Code インストール時に実行する追加タスクを選択して、「次へ」をクリックしてください。

アイコンを追加する:

☐ デスクトップ上にアイコンを作成する(D)

その他:

☐ エクスプローラーのファイル コンテキストメニューに [Code で開く] アクションを追加する

☐ エクスプローラーのディレクトリ コンテキストメニューに [Code で開く] アクションを追加する

☐ サポートされているファイルの種類のエディターとして、Code を登録する

☒ PATH への追加(再起動後に使用可能)

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

インストール準備完了

ご使用のコンピュータへ Visual Studio Code をインストールする準備ができました。



インストールを続行するには「インストール」を、設定の確認や変更を行うには「戻る」をクリックしてください。

追加タスク一覧:

その他:

PATH への追加(再起動後に使用可能)

< 戻る(B)

インストール(I)

キャンセル

インストール状況

ご使用のコンピュータに Visual Studio Code をインストールしています。しばらくお待ちください。

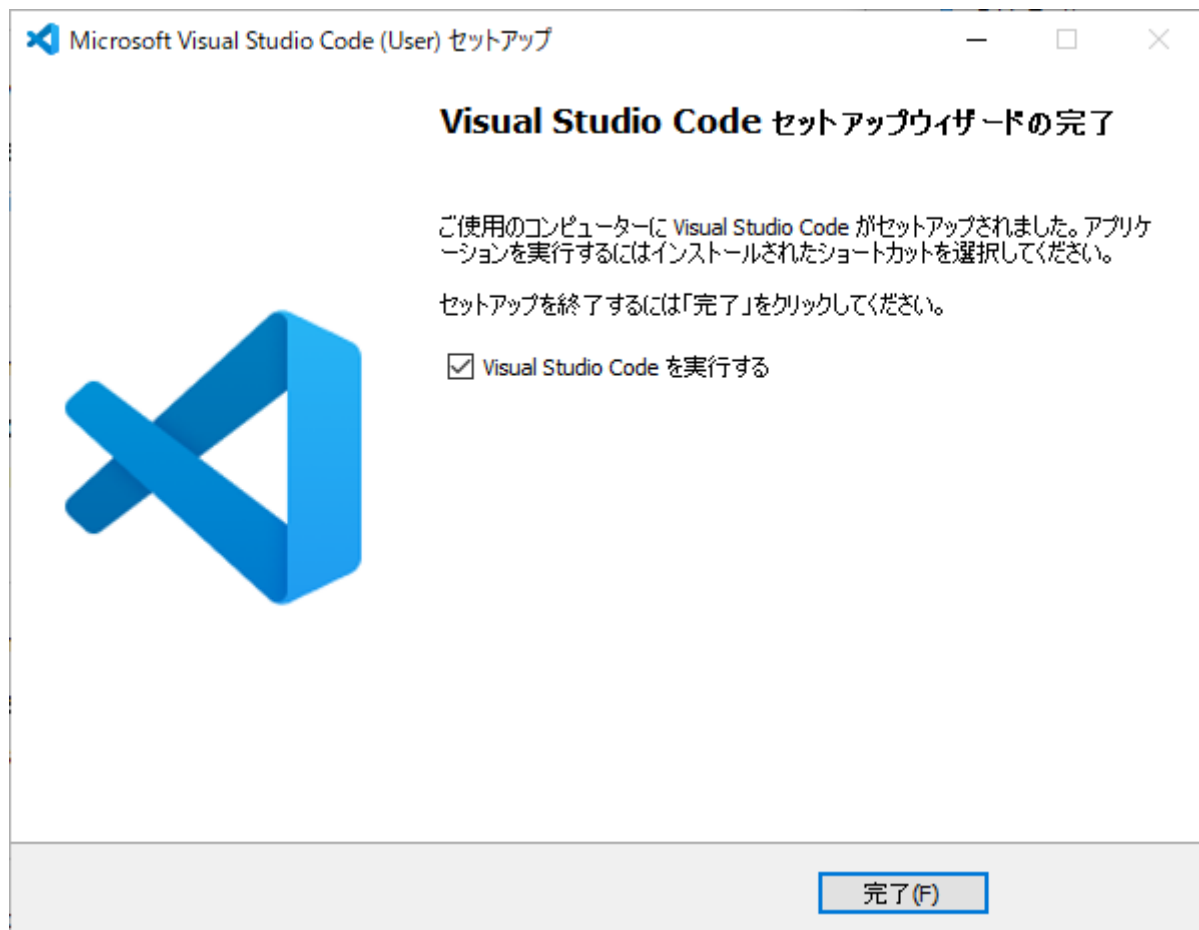


ファイルを展開しています...

C:\Program Files\Local\Programs\Microsoft VS Code\resources\app\extensions\less\language-configuration.json

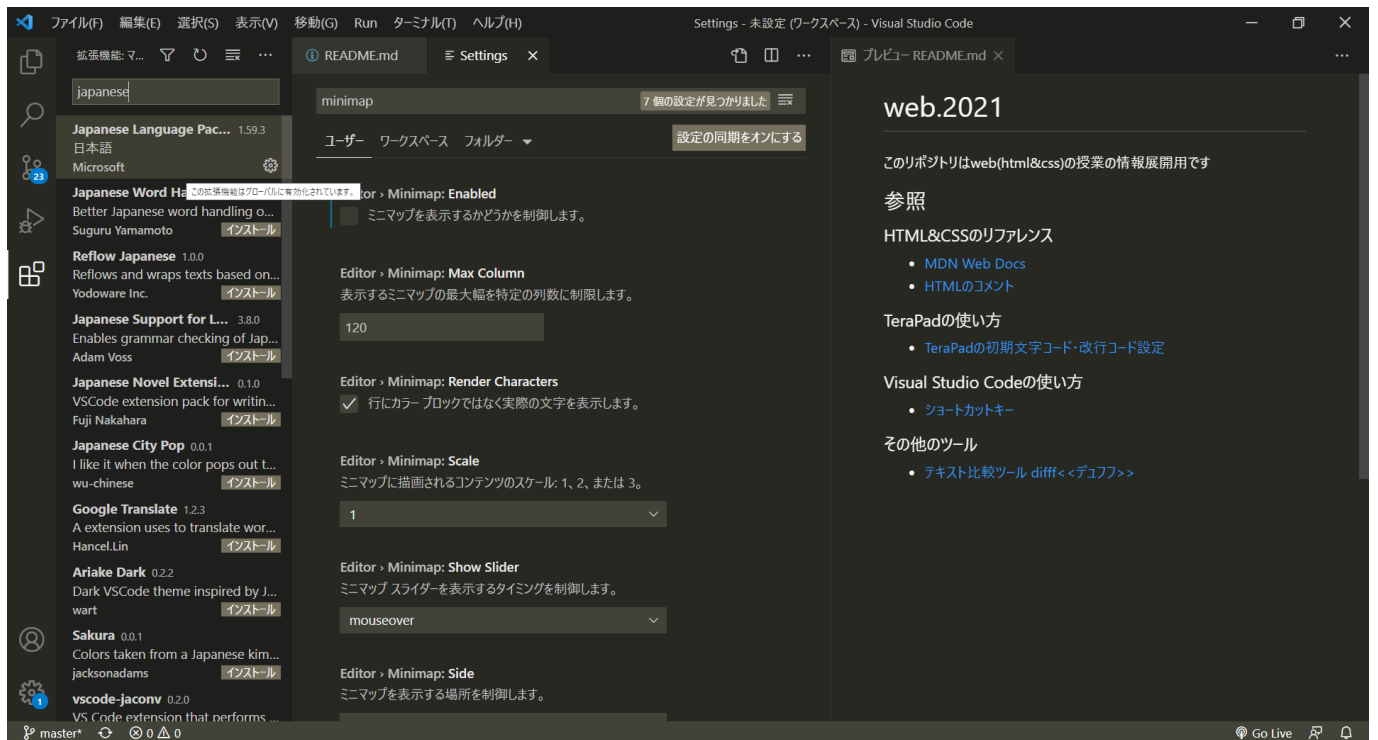


キャンセル



拡張機能①-日本語化]■

1. 左メニューのアイコン《Extensions》（拡張機能）を選択
2. 検索窓に《japanese》を入力



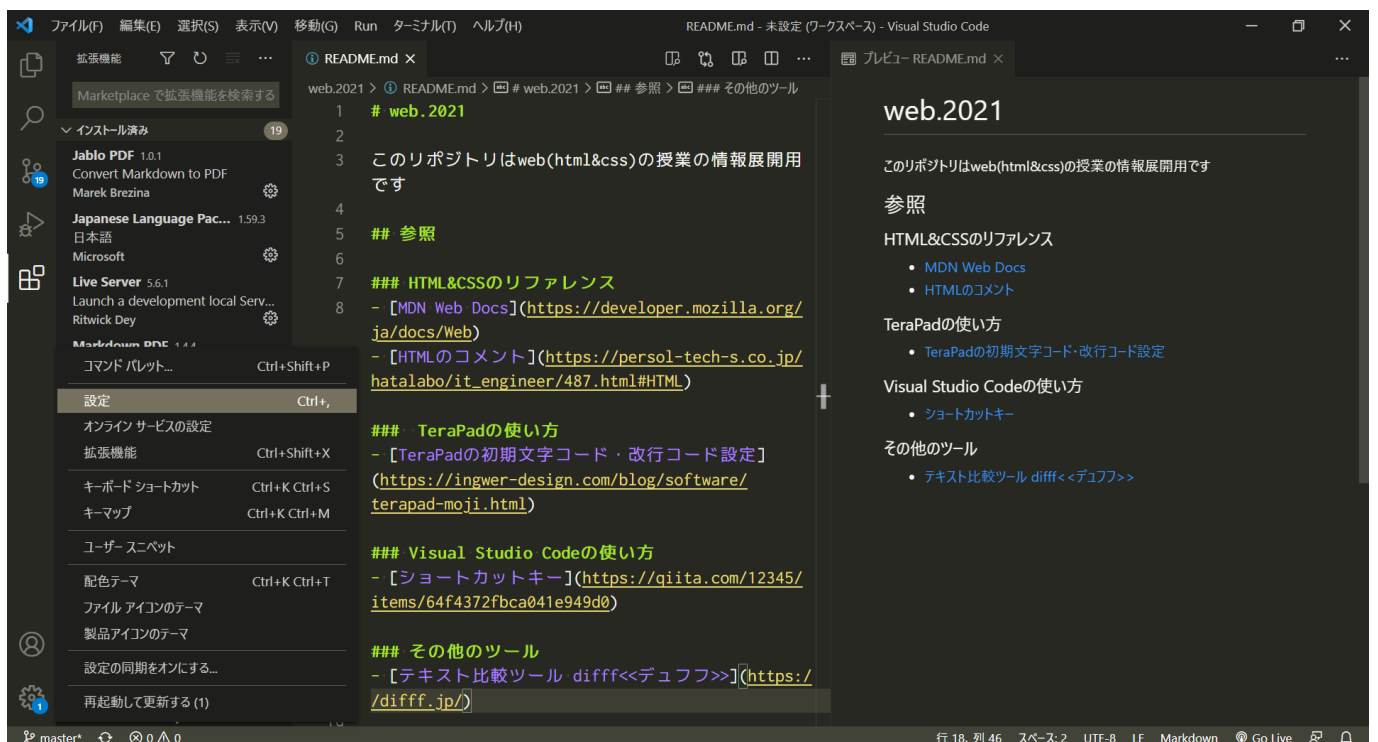
3. 検索一覧より《Japanese Language Pack for VS Code》を選択
4. 緑のボタン《Install》を選択
5. ウィンドウ右下の青いボタン《Restart Now》（再起動）を選択

追加した機能

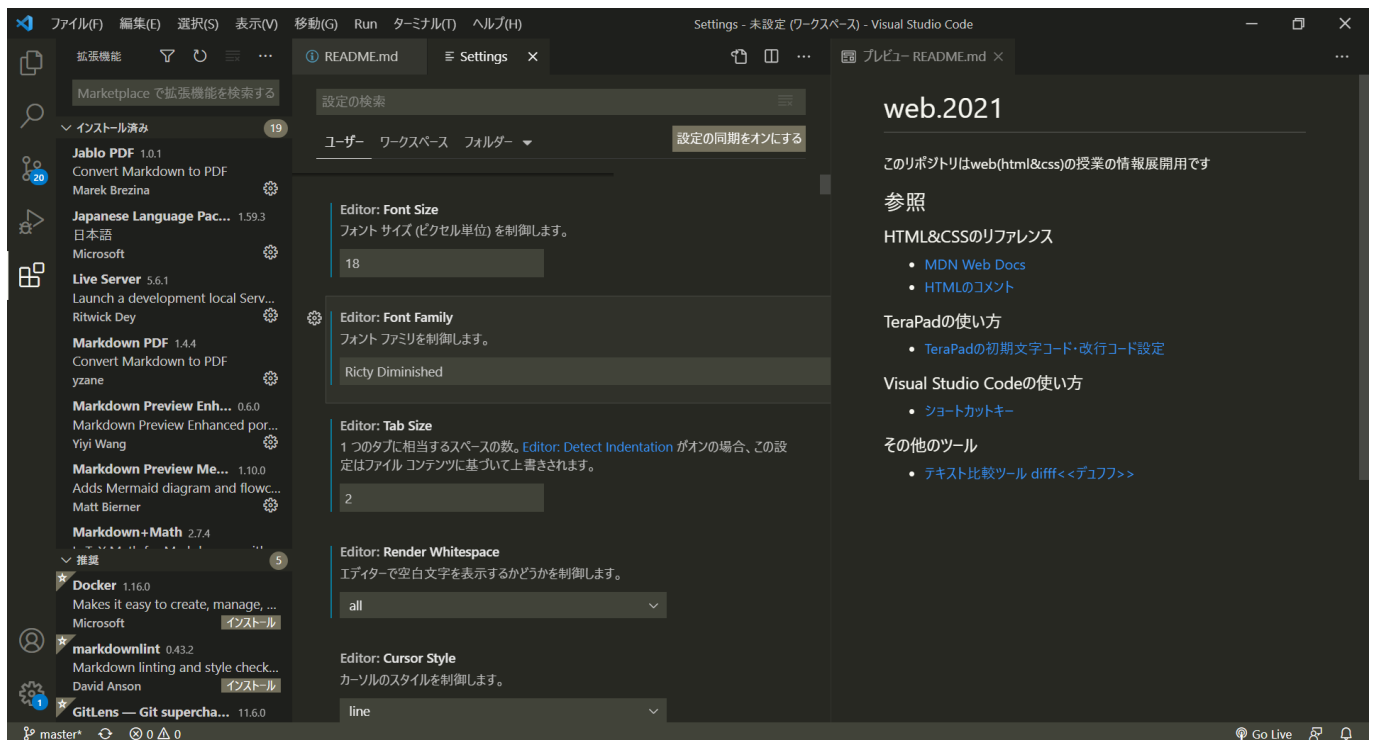
- VSCodeの日本語化パック Japanese Language Pack for VS Code

基本設定①-フォントサイズの変更

1. メニューバーの《ファイル》> 《ユーザー設定》> [設定]画面 （または左下の[⚙️]アイコン> [設定]）

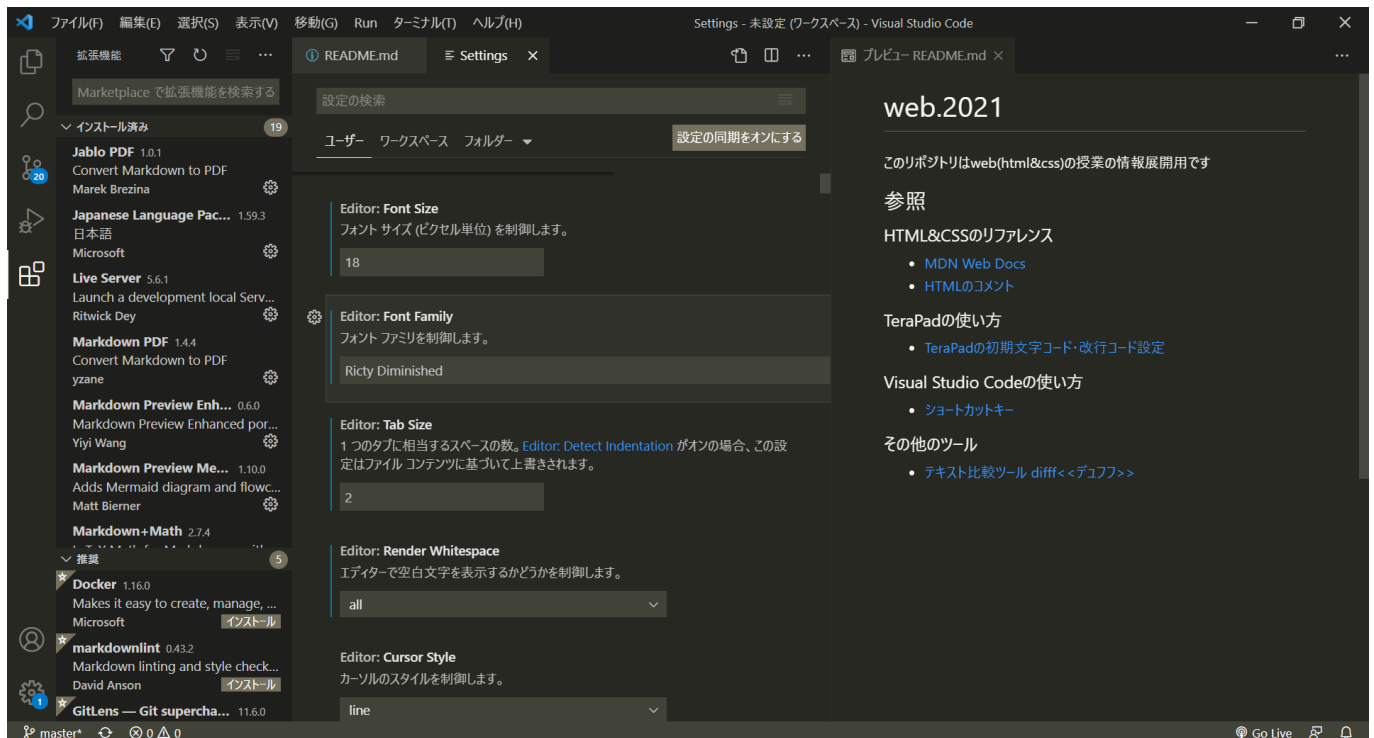


2. 《よく使用するもの》一覧のより《Editor: Font Size》（フォントサイズ(ピクセル単位)を制御します。）を選択
3. 《14》から半角数値で《18》（好きな値でも可）に変更する。*エンターしなくても自動保存される。



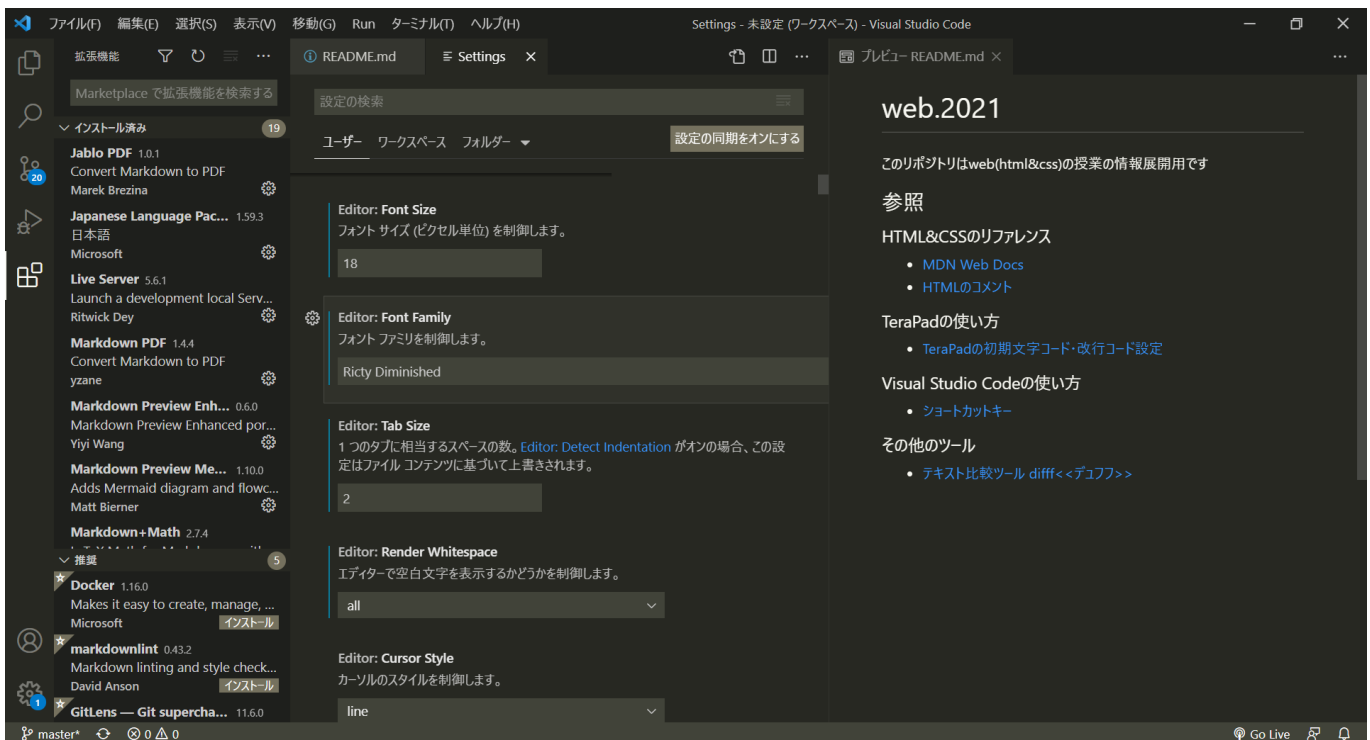
基本設定②-タブサイズの変更

1. 《よく使用するもの》一覧のより《Editor: Tab Size》（1つのタブに相当するスペースの数）を選択
2. 《4》から半角数値で《2》に変更する。*エンターしなくても自動保存される。



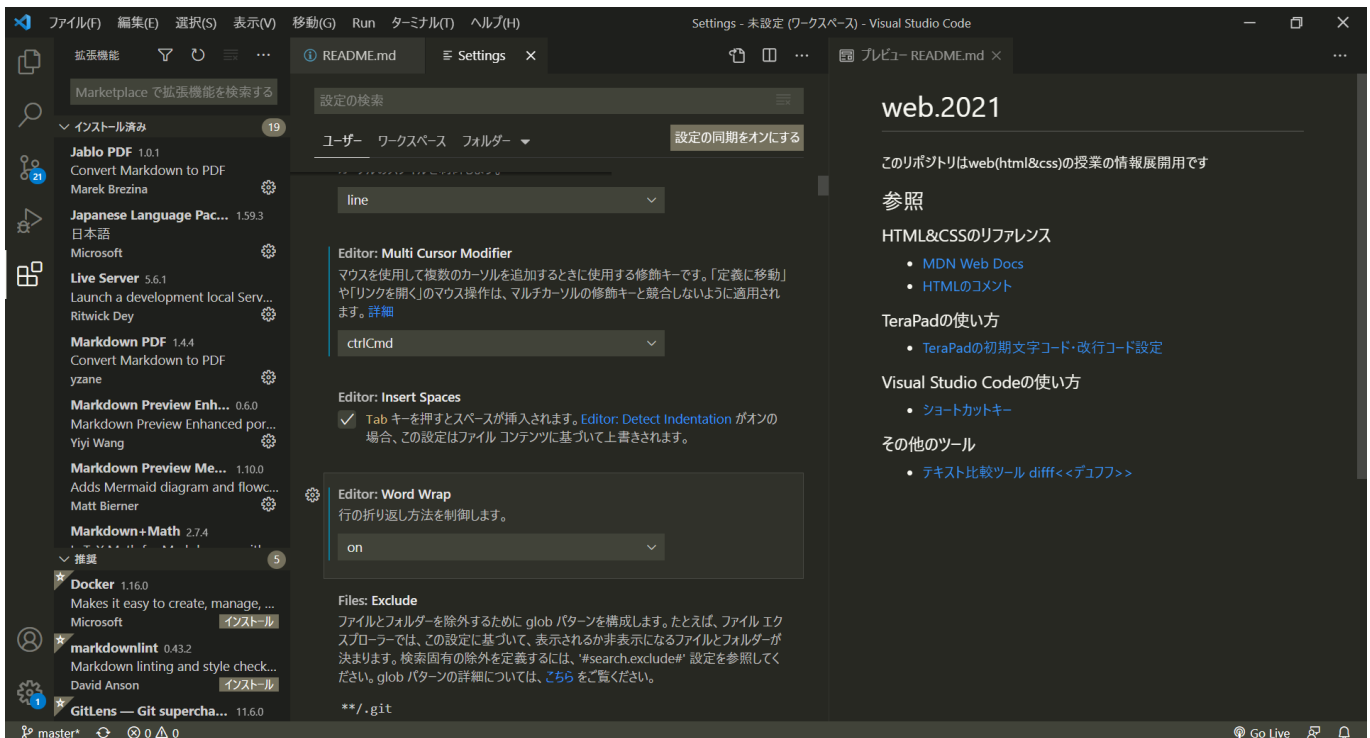
基本設定③-半角スペースなど空白文字を表示

1. 《よく使用するもの》一覧のより《Editor: Render Whitespace》（エディターで空白文字を表示するかどうかを制御します。）を選択
2. 《selection》から《all》に変更する。



基本設定④-行の折り返し方法

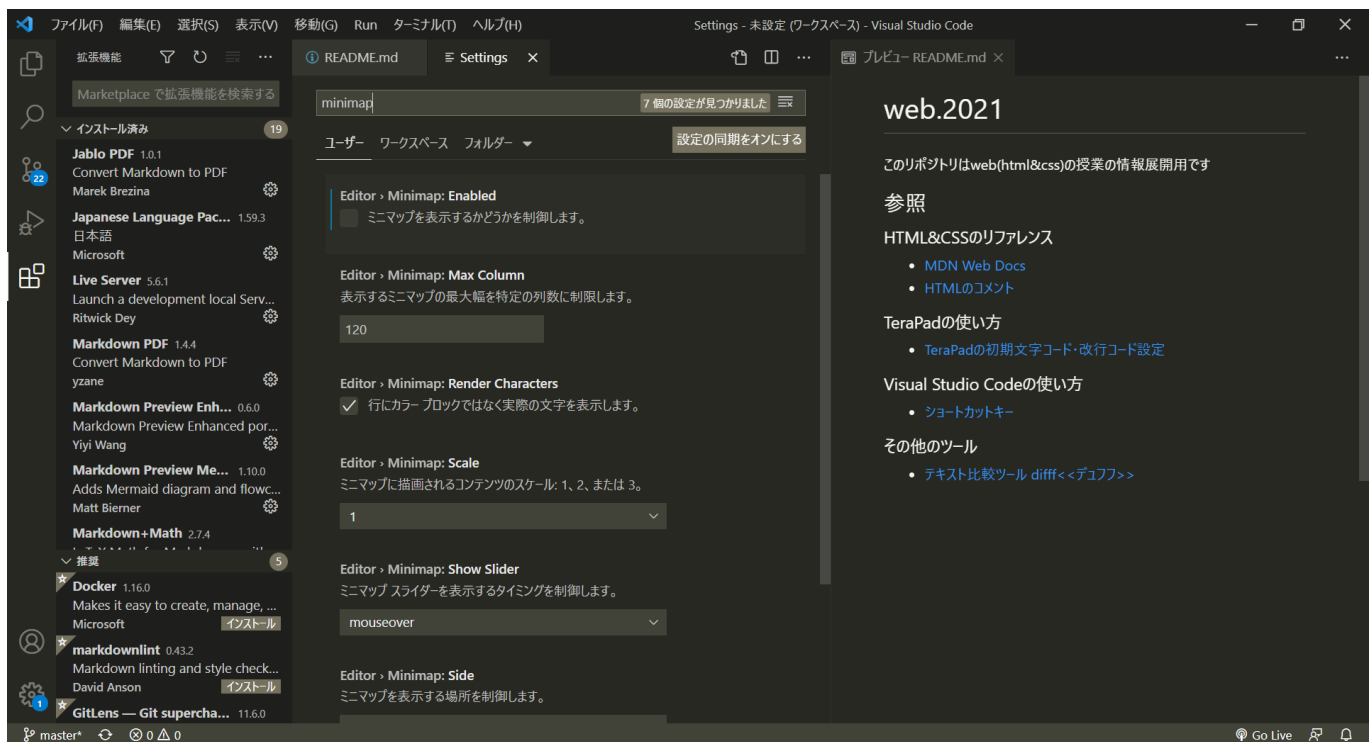
1. 《よく使用するもの》一覧のより《Editor: Word Wrap》（行の折り返し方法を制御します。）を選択
2. 《off》から《on》に変更する。



基本設定⑤-ミニマップの非表示

ソースが長くなると右上にソース全体像「ミニマップ」が表示されて少し邪魔になるので非表示にします。

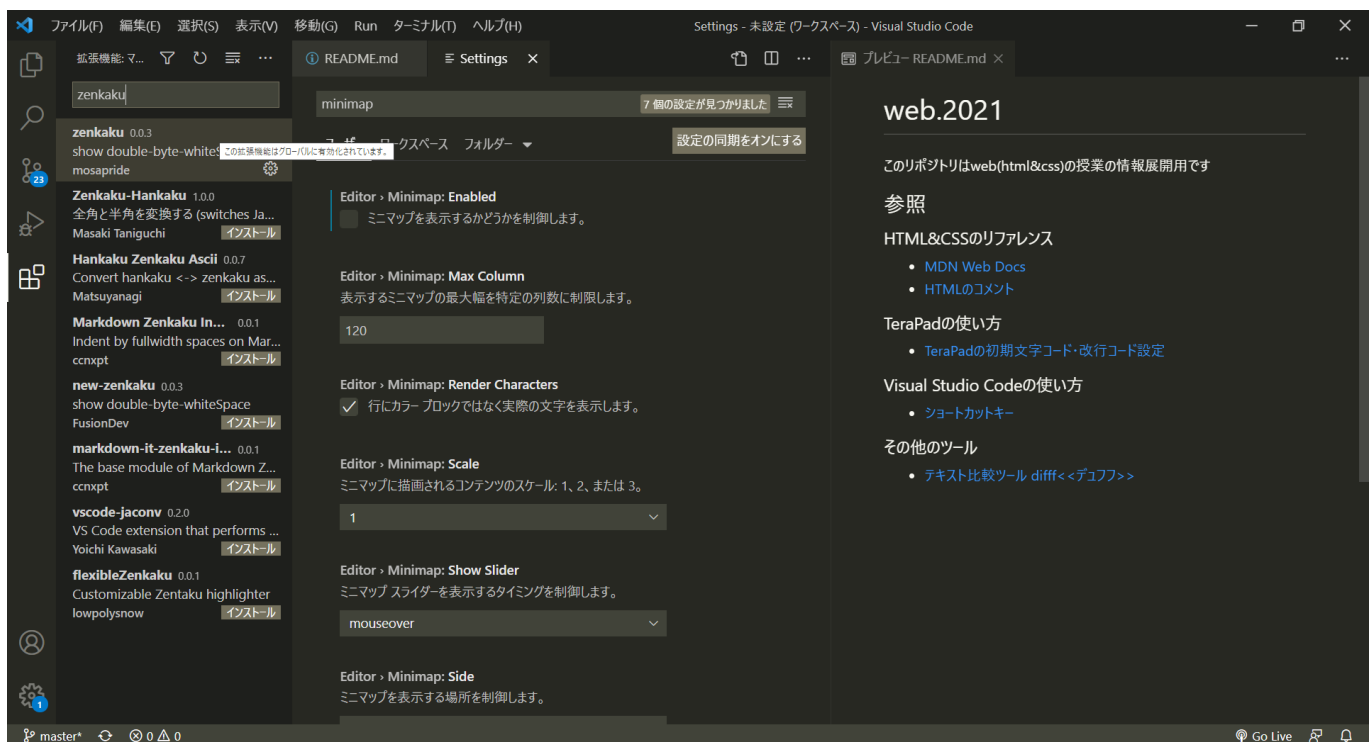
1. 左メニューの《テキストエディター》一覧より《ミニマップ》を選択
2. 《Enabled》（ミニマップを表示するかどうかを制御します。）の☐を外して非表示にする



拡張機能②-全角スペースの表示

全角スペースの表示は拡張機能で可能になります。事故の元になるので必ず入れましょう。

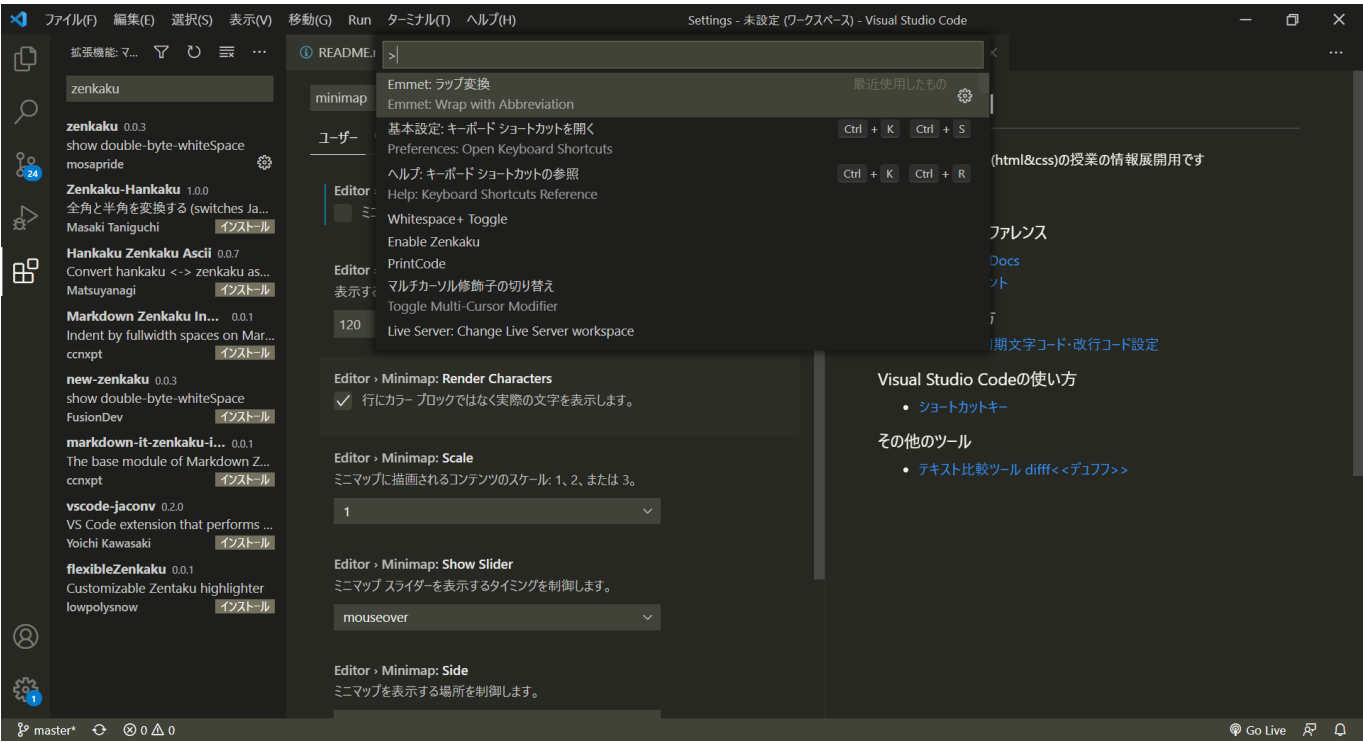
1. 左メニューから一番下の《拡張機能》アイコンを選択
2. 検索窓に《zenkaku》を入力



3. 検索結果一覧より《zenkaku》の《インストール》を選択し、全角スペースを入力してハイライトされることを確認

有効化されていない場合

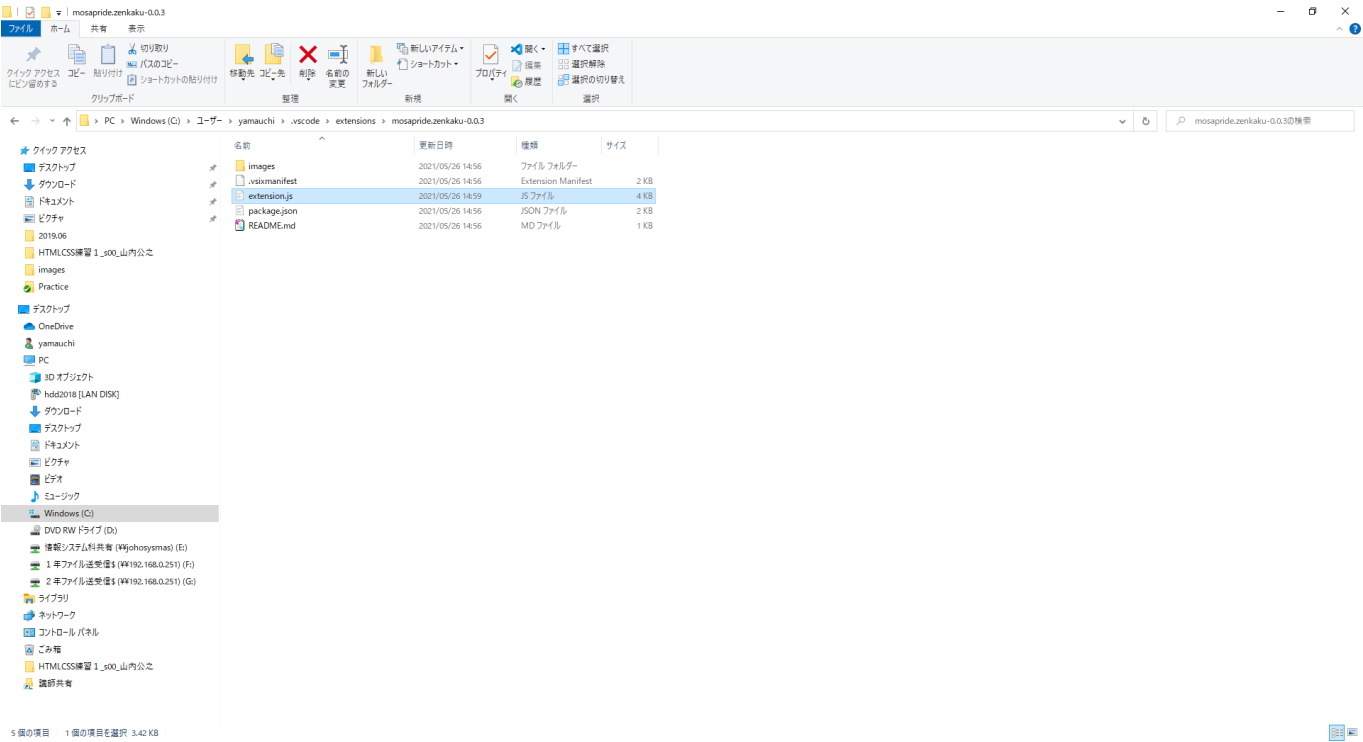
1. 《F1》キーを選択しコマンドを半角英字で《zenkaku》と入力



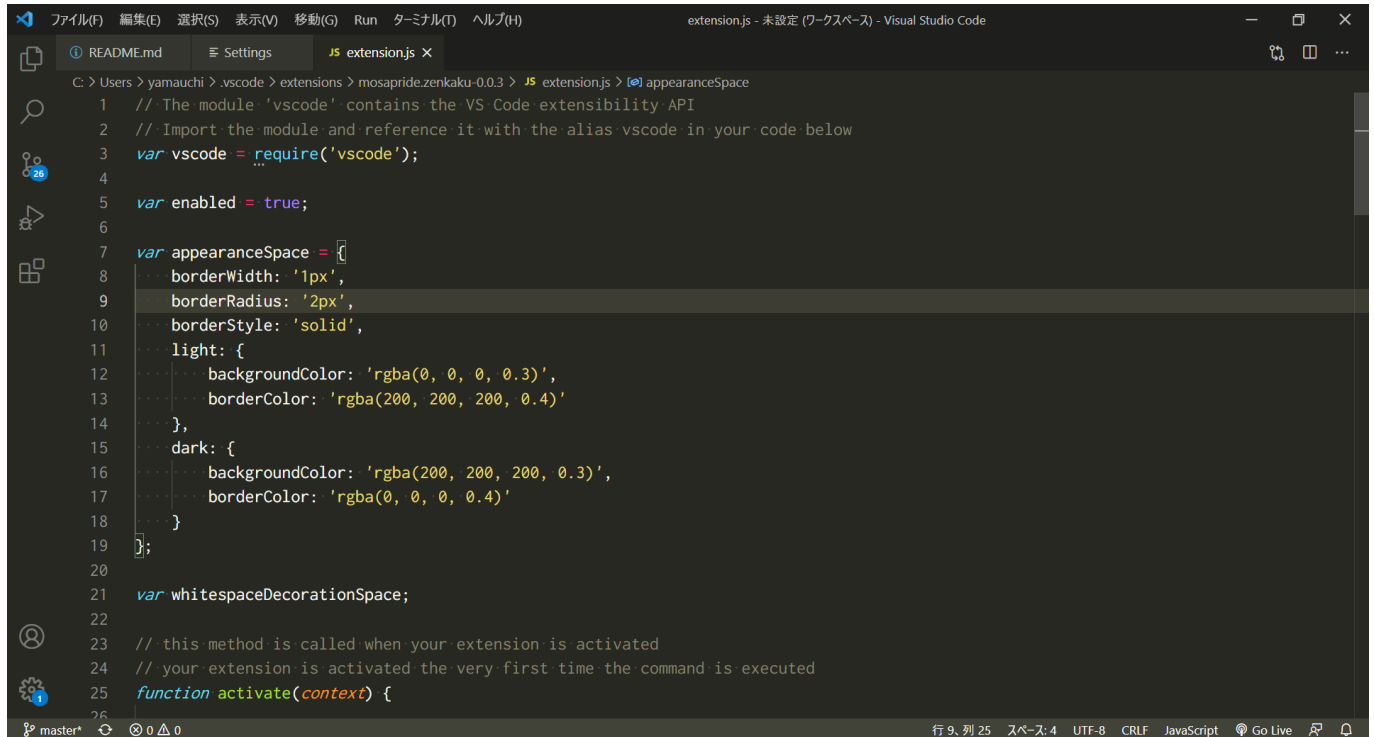
2. 一覧から《Enable Zenkaku》（Zenkakuを有効化）を↓キーで選択し、エンターで確定する。

《zenkaku》を常に適用にする

1. VSCodeのプログラムが入っているフォルダを開く。《C:ドライブ》>《ユーザー》>《.vscode》>《extensions》>《mosapride.zenkaku-0.0.3》>《extension.js》をVSCodeで開く。 * インストールしたPC環境によってディレクトリパスが各自で異なる場合があります。《.vscode》以下は同じです。



- 5行目の《var enabled = false;》を《var enabled = true;》に変更し、上書き保存をしてファイルを閉じる。



```
1 // The module 'vscode' contains the VS Code extensibility API
2 // Import the module and reference it with the alias vscode in your code below
3 var vscode = require('vscode');
4
5 var enabled = true;
6
7 var appearanceSpace = {
8   borderWidth: '1px',
9   borderRadius: '2px',
10  borderStyle: 'solid',
11  light: {
12    backgroundColor: 'rgba(0, 0, 0, 0.3)',
13    borderColor: 'rgba(200, 200, 200, 0.4)'
14  },
15  dark: {
16    backgroundColor: 'rgba(200, 200, 200, 0.3)',
17    borderColor: 'rgba(0, 0, 0, 0.4)'
18  }
19 };
20
21 var whitespaceDecorationSpace;
22
23 // this method is called when your extension is activated
24 // your extension is activated the very first time the command is executed
25 function activate(context) {
26
```

- 再起動すると、直後から常に《zenkaku》の拡張機能が有効な状態になる。

追加した機能

- 全角スペースをハイライトする zenkaku

拡張機能③-自動整形

Ctrl+Shift+Fで整形(フォーマット)が全で可能ですがめんどくさいので、ペースト及び保存時に

- メニューバーの《ファイル》>《ユーザー設定》>[設定]画面（または左下の[⚙️]アイコン>[設定]）
- 検索窓に「format」を入力
- 検索結果の以下を設定
 - Editor:Default Formatter => 「HTML 言語機能」を選択
 - Editor:Format On Paste => チェックを入れる
 - Editor:Format On Save => チェックを入れる

Editor: Default Formatter

他のすべてのフォーマット設定よりも優先される、既定のフォーマットを定義します。フォーマットを提供している拡張機能の識別子にする必要があります。

HTML 言語機能



Editor: Format On Paste

✓ 貼り付けた内容がエディターにより自動的にフォーマットされるかどうかを制御します。フォーマットを使用可能にする必要があります。また、フォーマットがドキュメント内の範囲をフォーマットできなければなりません。

Editor: Format On Save

✓ ファイルを保存するときにフォーマットします。フォーマットが有効でなければなりません。ファイルの遅延保存やエディターを閉じることは許可されていません。

Editor: Format On Save Mode

保存の形式でファイル全体をフォーマット指定するか、変更のみをフォーマットするかを制御します。[Editor: Format On Save](#) が有効な場合にのみ適用されます。

file



配色テーマ設定

1. 《ファイル》から《基本設定》にロールオーバーし、《配色テーマ》を選択
 2. 上部コマンド入力欄より一覧が表示される。
 3. 各配色のプレビューを確認するため、上下方向キー（↑↓）で確認
 4. 授業で使用する配色《Light（Visual Studio Code）》（好きな色を選択しても可）をエンタキーで選択し適用
- 人気の配色は、《Monokai》です。
 - 有名なテキストエディタ《Sublime Text（サブライムテキスト）》の基本配色で、
 - 目に優しい黒背景かつコードの視認性が高いため。

諸注意

- 《F11》キーを押してしまうと、エディターのウィンドウが全画面表示となりメニューバーが非表示となる。
- もう一度《F11》キーを押すとエディターのウィンドウ表示を元に戻せます。